

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。9月に「平成29砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」を公表した（詳細は2017年11月号参照）。

平成29砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：194万6000トン（前年度比0.4%増）

総供給量：191万7000トン（同1.5%増）

【異性化糖】

消費量および供給量：81万4000トン（同1.8%減）

表1 平成29砂糖年度における砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

		平成28砂糖年度 (実績見込み)	平成29砂糖年度（見通し）				合計	
			10月-12月	1月-3月	4月-6月	7月-9月		
消費量	分みつ糖	1,902	519.0	441.1	475.3	474.5	1,910	
	含みつ糖	37	5.9	14.0	10.0	6.0	36	
	合計	1,939	524.9	455.1	485.3	480.5	1,946	
供給量	国内産糖	分みつ糖	678	345.2	370.7	38.8	-	755
		含みつ糖	10	0.6	7.4	1.3	-	9
		小計	688	345.8	378.1	40.1	-	764
	輸入糖	分みつ糖	1,190	319.9	188.5	305.9	328.5	1,143
		含みつ糖	10	1.4	4.7	3.1	0.9	10
		小計	1,200	321.3	193.2	309.0	329.4	1,153
	合計	分みつ糖	1,868	665.1	559.2	344.7	328.5	1,897
		含みつ糖	20	2.0	12.1	4.4	0.9	19
		小計	1,889	667.1	571.3	349.1	329.4	1,917
	期末在庫		258	400.3	516.4	380.2	229.1	229

資料：農林水産省「平成29砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 平成29砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	平成28砂糖年度 (実績見込み)	平成29砂糖年度（見通し）				合計
		10月-12月	1月-3月	4月-6月	7月-9月	
消費量	829	168.5	177.4	244.8	223.5	814
供給量	829	168.5	177.4	244.8	223.5	814

資料：農林水産省「平成29砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」

注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 異性化糖の移出動向

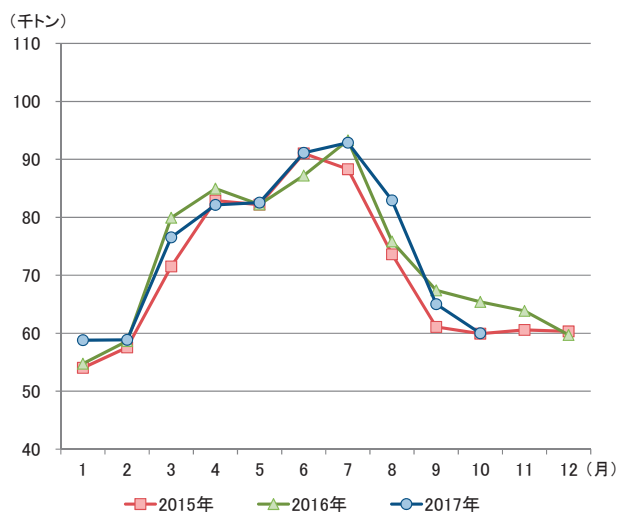
10月の移出数量は前年同月からかなりの程度減少

2017年10月の異性化糖の移出数量は、5万9990トン（前年同月比8.3%減、前月比7.7%減）であった（図1）。

10月の規格別の移出量は、次の通りであった（図2）。

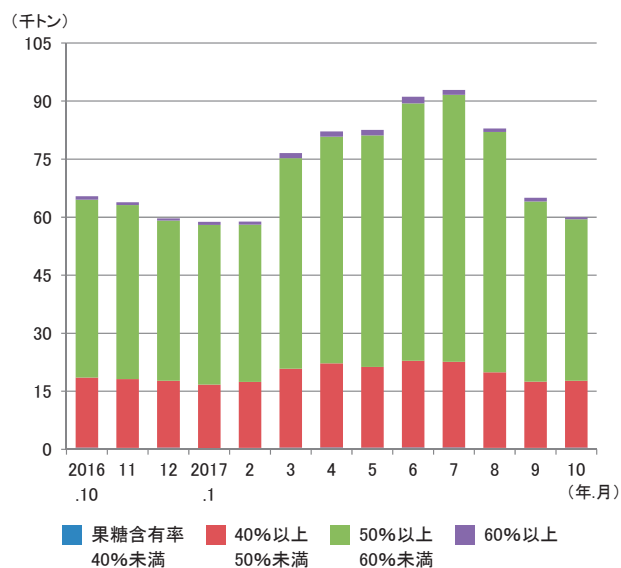
果糖含有率40%未満	437トン
（前年同月比5.6%増、前月比13.9%増）	
同40%以上50%未満	1万7283トン
（同4.6%減、同0.9%増）	
同50%以上60%未満	4万1711トン
（同9.3%減、同10.3%減）	
同60%以上	558トン
（同34.6%減、同43.2%減）	

図1 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図2 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

3. 輸入動向

【分みつ糖の輸入動向】

9月の輸入量は前年同月から大幅に減少

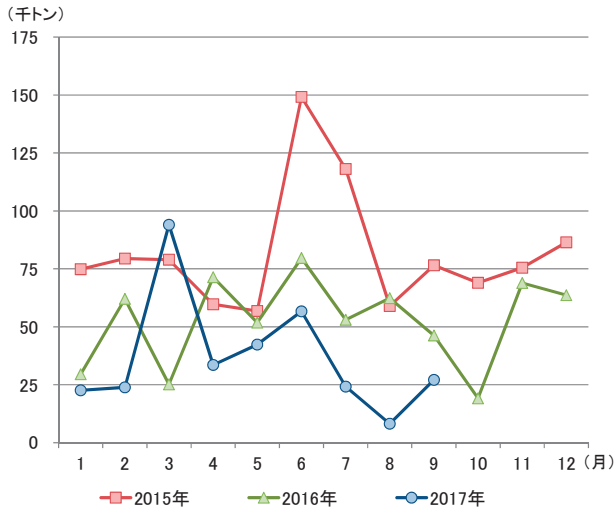
財務省「貿易統計」によると、2017年9月の分みつ糖（HSコード 1701.14-110）の輸入量は、2万7103トン（前年同月比41.4%減、前月比3.3倍）であった（図3）。

輸入先国はフィリピンおよびタイで、輸入量は次の通りであった（図4）。

フィリピン	1万8629トン
（前年同月輸入実績なし、前月比2.3倍）	
タイ	8474トン
（前年同月比76.5%減、同42.4倍）	

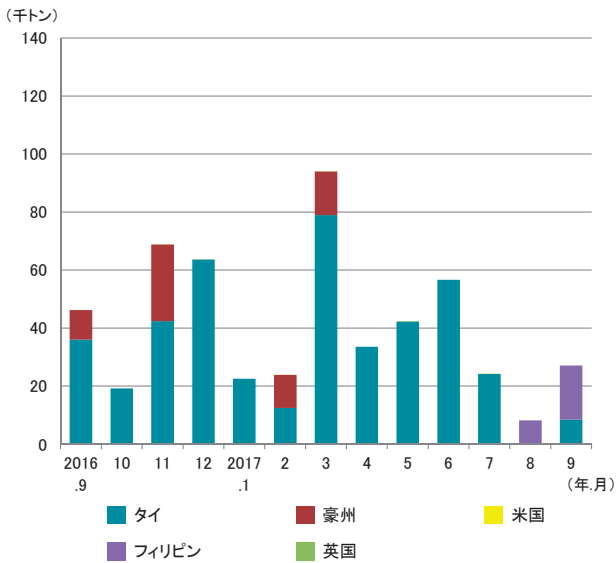
また、同月における豪州からの高糖度原料糖（糖度98.5度以上99.3度未満、HSコード1701.14-200）の輸入量は、10万3264トン（前年同月比31.5%増、前月比3.0%増）であった。

図3 分みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

図4 分みつ糖の国別輸入量の推移



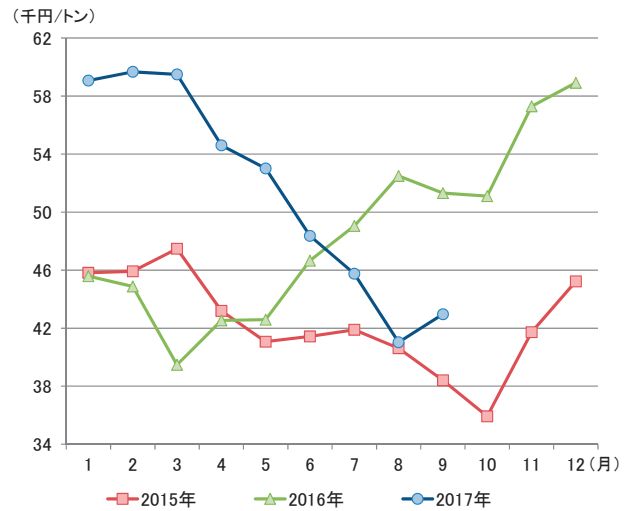
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

2017年9月の1トン当たりの輸入価格は、4万2957円（前年同月比16.3%安、前月比4.7%高）であった（図5）。

フィリピン 4万2044円
（前年同月輸入実績なし、前月比3.8%高）
タイ 4万4964円
（前年同月比13.3%安、同16.4%安）

また、同月における豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、4万2320円（前年同月比19.1%安、前月比3.1%安）であった。

図5 分みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

【含みつ糖の輸入動向】

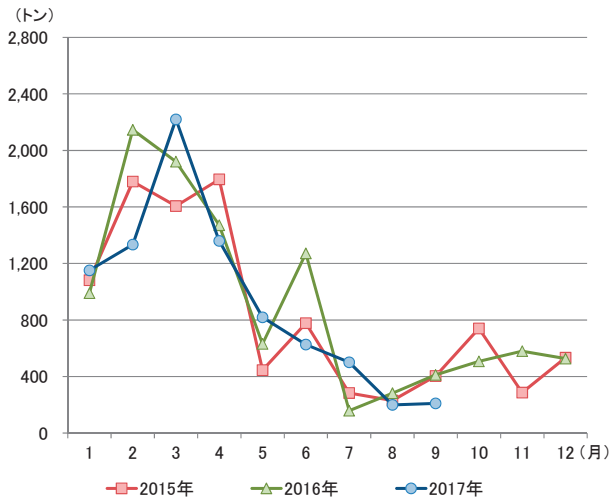
9月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2017年9月の含みつ糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、210トン（前年同月比48.9%減、前月比5.5%増）であった（図6）。

輸入先国は中国、ポリビアおよびタイの3カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図7）。

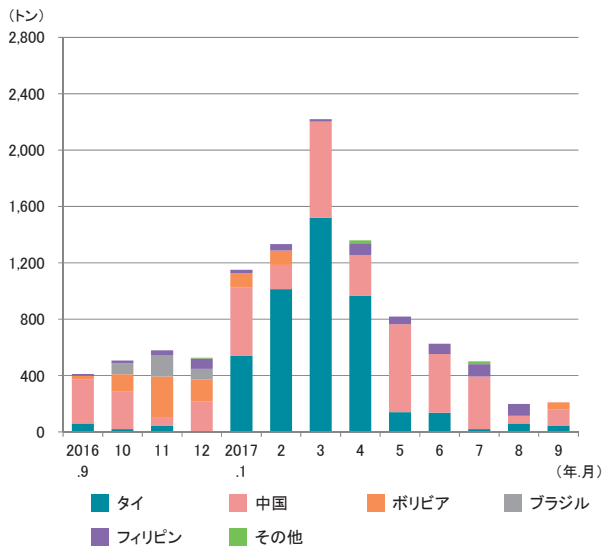
中国	117トン
	（前年同月比62.6%減、前月比2.2倍）
ポリビア	51トン
	（同2.0倍、前月輸入実績なし）
タイ	42トン
	（同30.0%減、前月比31.1%減）

図6 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図7 含みつ糖の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

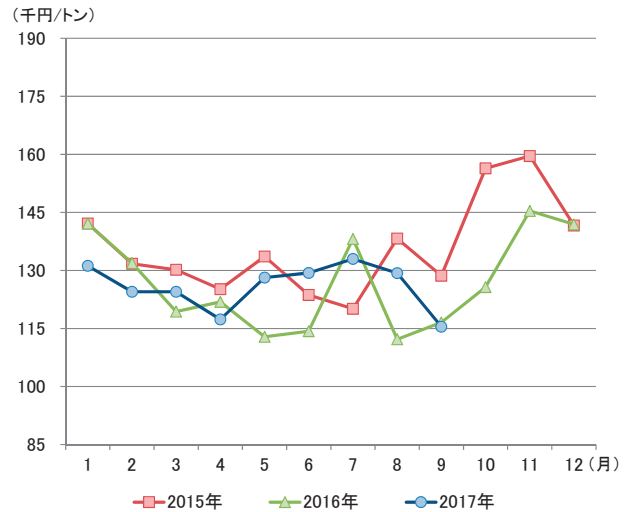
2017年9月の1トン当たりの輸入価格は、11万5486円（前年同月比0.9%安、前月比10.7%安）であった（図8）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国	12万2940円
	（前年同月比16.6%高、前月比18.6%安）
ボリビア	13万804円
	（同3.4%高、前月輸入実績なし）

タイ 7万6119円
（同51.0%安、前月比29.1%安）

図8 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

【加糖調製品の輸入動向】

9月の加糖調製品の輸入量は前年同月からかなり大きく増加

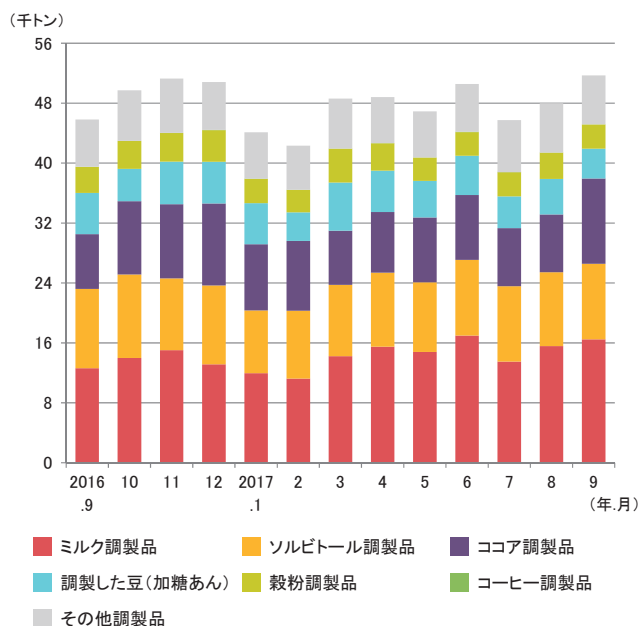
財務省「貿易統計」によると、2017年9月の加糖調製品の輸入量は、5万1706トン（前年同月比12.8%増、前月比7.8%増）であった（図9）。

品目別の輸入量は、次の通りであった。

ミルク調製品	1万6476トン
	（前年同月比30.4%増、前月比5.8%増）
ココア調製品	1万1377トン
	（同56.0%増、同47.4%増）
ソルビトール調製品	1万86トン
	（同4.7%減、同2.3%増）
調製した豆（加糖あん）	3978トン
	（同27.8%減、同16.2%減）
穀粉調製品	3242トン
	（同6.4%減、同7.4%減）
コーヒー調製品	27トン
	（同68.0%増、同2.5倍）

その他調製品 6520トン
(同3.2%増、同0.6%減)

図9 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは次の通り。

ココア調製品：1806.10-100、1806.20.111、1806.20-190
 コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246
 調製した豆(加糖あん)：2005.40-190、2005.51-190、2005.99-119
 ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284
 ソルビトール調製品：2106.90-510
 穀粉調製品：1901.90-251、1901.90-252
 その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-282、2106.10-219

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

10月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京	1キログラム当たり189～190円
大阪	同190円
名古屋	同193円
関門	同193円

上白糖（小袋）

東京	1キログラム当たり202～203円
----	-------------------

大阪	同204円
----	-------

本グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり194～195円
大阪	同195円
名古屋	同198円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり189～190円
大阪	同190円
名古屋	同191円

10月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり131～132円

果糖分55%もの

同137～138円

【小売価格】

10月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で26.4円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける10月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、193.7円（前年同月差4.5円高、前月差1.4円安）であった。

同月の地域別^{（注）}の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	202.1円
（前年同月差5.7円高、前月差0.5円安）	
東北	203.2円
（同3.4円高、同5.4円高）	
関東など	181.7円
（同4.2円高、同3.4円高）	

首都圏	188.6円
	(同4.5円高、同15.2円安)
中部	182.3円
	(同2.6円高、同2.8円高)
関西	191.9円
	(同1.0円高、同2.0円高)
中国・四国	208.1円
	(同8.1円高、同0.9円高)
九州・沖縄	197.1円
	(同6.8円高、同0.4円安)

最も高かったのは中国・四国で、最も安かった関東などとの価格差は26.4円であった。

(注) 地域の内訳は次の通りである。以下、グラニュー糖および三温糖も同じである。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

10月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で76.8円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける10月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、243.2円（前年同月差4.4円高、前月差0.4円高）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	201.9円
	(前年同月差5.3円高、前月差1.7円高)
東北	278.7円
	(同4.2円高、同0.1円高)
関東など	250.7円
	(同4.2円高、同0.1円安)

首都圏	250.8円
	(同5.1円高、同0.5円高)
中部	252.3円
	(同3.7円高、前月同)
関西	231.2円
	(同1.0円安、前月同)
中国・四国	255.0円
	(同8.4円高、前月差0.4円高)
九州・沖縄	223.5円
	(同5.7円高、前月同)

最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は76.8円であった。

10月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で54.9円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける10月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、237.4円（前年同月差3.9円高、前月差1.6円安）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	234.2円
	(前年同月差2.6円安、前月差12.7円安)
東北	265.2円
	(同7.8円高、同2.0円高)
関東など	242.6円
	(同5.4円高、同0.9円安)
首都圏	235.6円
	(同8.1円高、同0.3円安)
中部	228.5円
	(同0.8円高、同1.3円高)
関西	231.1円
	(前年同月同、同0.7円安)
中国・四国	255.5円
	(前年同月差8.8円高、同0.9円安)
九州・沖縄	210.3円
	(同3.0円高、同1.3円安)

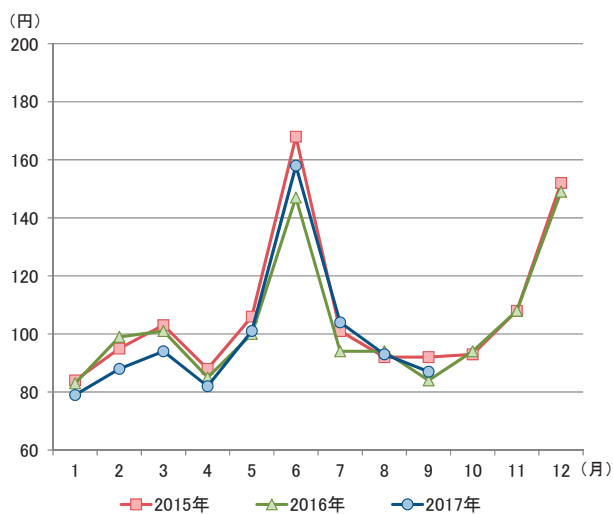
最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は54.9円であった。

【購入金額および購入量】

9月の砂糖の支出金額は前年同月からやや上昇

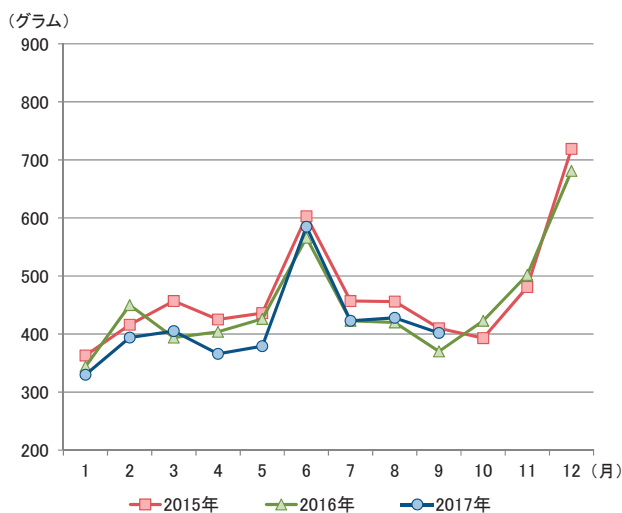
総務省「家計調査」によると、2017年9月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は35で、1世帯（2人以上）当たりの支出金額は、87円（前年同月比3.6%高、前月比6.5%安）であった（図10）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、402グラム（同8.6%増、同6.1%安）であった（図11）。

図10 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図11 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」